

館名	志和生涯学習センター		
事業名	地域リーダー養成講座 ～たまご育て編 みんなでわいわい お楽しみ会		
趣旨	<p>○様々な体験を通して、地域への関心や愛着が芽生える「種まき」をする。 ○同じ目的に向かって、異年齢の仲間と助け合いながら活動をする。 ○地域の人や仲間との交流により、みんなが「つながること」の大切さに気づく。</p>		
特徴	<p>○町内にある社会教育施設(3か所)で、同じ内容の行事を行う。 ○小学校区に限らず、どの会場にも参加出来る。 ○地域の保育所、学童保育所、一般児童はもちろん、志和地域以外へも広くPRする。</p>		
事業の様子			
	<p>異年齢グループをつくっていると いるところです。色別番号 カードを受け取ったら、自 分のチームの色のコーン を探して移動します。</p>	<p>グループ編成ができたところ で、レクソングやふれあ い遊びを楽しみ、ゲーム のルールについて聞きます。</p>	<p>チーム対抗「ボール送り競 争」。両足を開いて、足の 間からボールを送ります。</p>
活動実績	<p>【実施期日】 第1回 平成 28 年 8 月 8 日 (月) 午前 10:00～11:30 (実施済) 第2回 平成 28 年 8 月 10 日 (水) 午前 10:00～11:30 (実施済) 第3回 平成 28 年 8 月 24 日 (水) 午前 10:00～11:30 (実施済) 【実施場所】 第1回 西志和コミュニティハウス</p>		
<p>円の真ん中に広げた4枚 の風呂敷を奪い合う、ドキ ドキ感たっぷりのゲーム。 何人でもできる運動遊び で、子どもたちに人気のあ る遊びです。応援にも熱 が入ります。</p>	<p>ゲームで汗を流したあと は、手品を見ます。 マナーを守って静かに見 ています。</p>	<p>全てのプログラムが終わ ったら、みんなで一緒にゴ ミ拾いタイム。 「来たときよりも美しく」を 実践しています。</p>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">活動実績</p>	<p>第2回 東志和地域センター 第3回 志和堀地域センター</p> <p>【実施機関・団体等】 志和生涯学習センター ボランティアグループ「べっぴんじゃけん」</p> <p>【対象者及び参加者数】 第1回 28 名 第2回 85 名 第3回 40 名 合計 153 名</p> <p>【事業費】 24, 000 円 (内訳:報償費 8000 円×3回 24, 000 円 ・需用費 円・通信費 円)</p> <p>【参加者の声】</p> <p>○幼児 ・「手品が面白かった」「てっちゃん(腹話術の人形)がかわいかった」</p> <p>○学童 ・「いろんなゲームをして楽しかった」「手品の仕掛けが分からなかった」「また見たい」 「風呂敷うばいのゲームで負けたのがくやしかった」</p> <p>○保育士さん ・「小学生の子供たちが自分たちよりも小さい子の面倒を優しく見てくれたのが印象的だった」 ・「ふだん出来ないようなゲームをしたり、あまり見たことのない手品、腹話術があって、子供たちが喜んでるのがよく分かった」</p> <p>○学童保育指導員 ・「ふだんは狭い部屋で過ごしているので、このような広い場所での活動はとても喜んでいました。手品や腹話術は毎年とても楽しみにしている。支援を必要としている子供も楽しく参加した。」 ・「終了後、みんなでゴミ拾いをするのはいいことですね。みんな一生懸命にやっていました」</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果と課題</p>	<p>【成果】</p> <p>○本講座は、志和町内の3つの小学校区の児童や幼児(町外参加者も含む)を対象に、3会場で開講した。子ども同士は初対面である場合も多いが、グループの仲間と力を合わせてゲームに集中していた。</p> <p>○集団遊びや、レクリエーション活動をしながら「約束を守って行動する」「人の嫌がることをしない」「力を合わせて競技に参加する」などを伝え、実体験を通して、良好な人間関係を築くために大切にしなければならないことを学ぶ機会となった。</p> <p>○小学生が幼児の世話をしたり、幼児が小学生に質問したりするなど、異年齢集団ならではのふれあいが見られた。</p> <p>【課題】</p> <p>○集中して話を聞く態度に課題が見られる。主催者側がゲームのルールを説明している最中も私語をしたり、茶化したりする姿が見られた。</p> <p>○支援を必要とする児童に関する情報がないままで対応していると、その関わりについて問題が生ずることもあった。参加者について情報の共有が必要である。</p> <p>【運営した感想】 (工夫したこと)</p> <p>○昨年までの記録をもとに、ゲームや手品の内容が重ならないようにし、変化をもたせた。</p> <p>○90 分間を「静」「動」「楽」「考」など、いろいろなジャンルを盛り込み、また、手品には必ず</p>

	<p>子供が参加出来る場面を作るようにした。</p> <p>(嬉しかったこと)</p> <ul style="list-style-type: none">○昨年参加した児童が、今年も楽しみにしているという話を聞いた。○地域で偶然出会ったときに「あっ、前に手品をしてくれた人だ」と言いながら、手を振ってくれた。活動を通してつながりができたことを実感した。○保育士さんや学童保育の指導員さんから「終わってから数日は、この催しの話で盛り上がった」との報告があった。子供たちは活動の楽しさを喜んでくれたようだ。 <p>(今後の希望)</p> <ul style="list-style-type: none">○今後も継続し、異年齢のつながりを大切にしたい活動を作っていきたい。○遊びを中心に展開するが、小さな奉仕活動(例えば、雑巾をしぼってセンターのスリッパを拭く、花壇の草取りをする等)も取り入れていきたい。
連絡先	<p>○志和生涯学習センター 〒739-0268 東広島市志和町志和西1432番地 電話 082-433-3196 ファクシミリ 082-433-3196 電子メール shiwa-k@city.higashihiroshima.lg.jp</p>